

1 「といてみたい」「考えてみたい」～意欲を高める学習課題の提示

<テーマ> 輪投げゲームを活用し、円の性質を見付ける取組（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】 3年「まるい形を調べよう」

「円周上のどの点も中心から等距離にあることを見つけている」というねらいを達成するために、「意欲を高める学習課題を提示する」視点から二つの工夫を実践した。一つは、児童にとって学習の必要性・必然性があり、学習したことよさを感じ得る学習課題の設定であり、「学級お楽しみ会の輪投げゲームの並び方を考える」という課題である。もう一つは実際に一列に並んでみて課題解決の見通しをもつことができるようにした。例えば、「ずるい」等の言葉が出てきた場合、この段階で学習課題解決の見通しをもつことができていると想定できる。

その後、自力解決と集団での学び合いを通して、友達の考えを聞きながら、自分の考えの正しさを確認したり、友達の考えのよさを学んだり、多様な考えを比べて共通点や相違点を見出したりする言語活動を通して、円の持つ数理的な処理のよさについて気付かせていった。

【実践の概要】

学習前

ねらい

学習後

まるい形

言語活動の充実

円周上のどの点も中心から等距離にある



「輪投げゲームの並び方で悩んでいます」




C「円の形にならぶと、だいたいみんな同じ距離になる」  
C「四角など直角がある形だと図の●の人たちのようにまると近い人と遠い人がいる」



T「同じ距離で並べるとまるですね」「どんなまる？」  
C「まんまる」… C「お月さまのよう」…



T「この並び方でいいのかな？」  
C「遠くなる」  
C「だけど、距離が遠い」  
C「距離違う」  
C「〇〇君のあたりからは遠いけど、そこの真ん中のところは近い」  
T「どう並べばいいのかな？」  
C「まるくなればいい」  
C「はい」「はい」「はい」「まるくなる」  
C「そのまとのまわりに丸くなれば、だれでも同じ距離になる」

○ みんなで楽しく遊べる輪投げゲームの並び方を考えるぞ！





C「測って同じ距離になるように…」  
C「モールを切って比べると…」  
C「中心から同じ距離になるように…」

○ 中心から同じ距離の点を結ぶと円になる！  
○ まとを中心にひもを使えば円が描ける！  
→ 数理的な処理のよさへの気付き！